

## 社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画	
計画の名称	社会資本総合整備計画(特定計画(第2期府中市地域住宅計画))
都道府県	東京都
計画作成主体	府中市
計画期間	平成22年度 ~ 平成26年度
計画の目標	『高齢者や障害者等の住宅への円滑な入居を進める』 『既存ストックを有効に活用し、市営住宅におけるバリアフリー化を推進し、高齢者に対応する。』 『同じ地域に快適に住み続けられるように住環境の向上を実現し、災害に強く、環境に配慮したまちづくりを進めるため、昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震性を高める。』
2. 事後評価の内容	
実施体制・時期	府中市において評価を実施(平成27年6月)
事後評価の結果	<p><b>指標</b> : 優先入居による入居件数  <b>定義</b>: 平成17年度からの高齢者や障害者等の優先入居による入居件数の累計  <b>評価方法</b>: 平成17年度から平成27年3月31日までに府中市営住宅へ優先入居により入居した件数  <b>結果</b>: 従前値: 12件(平成21年度) 目標値: 28件(平成26年度)  <b>実績値</b>: 28件</p> <p>計画策定当初の目標値は25件であったが、計画期間内に達成したため、平成26年3月に目標値を増加修正。  <b>結果の分析</b>: 市営住宅の建替や明渡し等で発生した空き住居を障害者等へ募集した結果、計画に記載している件数分の申込があり、目標の優先入居件数を達成することができた。</p> <p><b>指標</b> : 「市営住宅におけるバリアフリー化住宅の割合」  <b>定義</b>: 市営住宅におけるバリアフリー化された戸数の割合  <b>評価方法</b>: 平成27年3月31日時点における、市営住宅のバリアフリー化率  <b>結果</b>: 従前値: 51%(平成21年度) 目標値: 58%(平成27年度)  <b>実績値</b>: 58.3%</p> <p><b>結果の分析</b>: 計画期間中における市営住宅の建替えを予定通り実施できたことにより、目標を達成することができた。</p> <p><b>指標</b> : 「民間木造住宅の耐震改修の実施棟数」  <b>定義</b>: 府中市内における民間木造住宅の耐震改修等の実施棟数  <b>評価方法</b>: 平成22年度から平成26年度までにおいて、府中市の補助金を受けた耐震改修等の実施棟数  <b>結果</b>: 従前値: 30棟(平成21年度) 目標値: 113棟(平成26年度)  <b>実績値</b>: 122棟</p> <p>計画策定当初の目標値は55棟であったが、計画期間内に達成したため、平成26年3</p>

	月に目標値を増加修正。 結果の分析:平成23年に発生した東日本大震災で、市民の耐震意識が高まったことなどにより、目標値を達成することができた。
結果の公表方法	府中市ホームページにて公表を行う。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
今後の住宅施策の取組への反映	市営住宅においては、住宅セーフティネット策の一環として、引き続き、高齢者や障害者等に対して、優先入居及び優遇抽選を実施していく必要がある。 また、民間木造住宅の耐震改修については、今後も、耐震改修の必要性や重要性について、継続的、かつ、より一層の周知・啓発に取組み、耐震化の促進を図る。
その他	

この事後評価は別添の社会資本総合整備計画について行ったものである。